

学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立永福小学校

記録者 坂田 則章

開催日時	令和6年7月19日(金) 15時00分～
開催場所	永福小学校 図書室
出席者(委員)	船尾会長、難波委員(校長)、井上委員、関森委員、鈴木委員、 藤重委員、瀧口委員、十亀委員、谷川委員
出席者(学校)	坂田副校長
傍聴者人数	0人

会議内容(次第順)

【報告事項】

会長挨拶

- ①教育活動の様子・運動会振り返り
- ②通知表について
- ③各部からの報告

【協議事項】

- ①学校運営協議会年間計画確認
- ②学校運営協議会だよりについて
- ③令和6年度CS独自アンケートについて
- ④7月意見交換会について

主な意見

【報告事項】(各部からの報告に協議事項が含まれる)

- ① 白樺湖移動教室(6年)について … 良かった点、来年度への課題について、子供たちの成長遠足、校外学習について …各学年なりの成長、公共交通機関の利用の仕方・指導の仕方について改めて考えていく
- ② 各部からの報告
地域部会: 本日稲荷神社のお祭りについて打ち合わせがある。子供神輿・山車について協力依頼がある際はPCAへ。
調査部会: 教員アンケートについて時期を調整する。

【協議事項】本日の教員との交流会から

- ・ベテラン教諭は若手とのコミュニケーションのとりづらさを感じることもある。以前とは変わってきている。その結果、教えてあげたいことも多々あるが、自分自身もそれでいいかと思うことがありやりきれない。
- ・学校の部屋の少なさが、子供たちへ対応をしてあげられないことにつながっている。地域ではマンションの立ち上げも続きそうな状況。教室自体も足らなくなる心配をしている。
- ・区の支援の充実を求めていく必要がある。運営協議会からも声を出していく。SSSについては過去に要望した経緯あり。
- ・通常学級支援員の増員が一番求めているところ。→(区)枠はあるが人がいない。ICTに関しても同様。
- ・支援が必要な児童について、どこまで対応ができるかが難しい。
- ・カスハラという言葉が、教員関連の新聞記事にも増えてきている。
- ・事務的な業務量の多さ(授業外のものが多い)。教室から出てしまう児童への対応。保護者対応にも苦慮することもあるが、保護者同士のつながりの希薄もある。
- ・基礎的な学力を育てる時間と児童自身の素地がない。
- ・若手教諭は保護者対応でそこまで困っていないようだ。比較的味方になってくれている。
- ・教科担任制の導入希望。業務量の多さ⇒目の前の業務をこなすことに精一杯になっている。
- ・掃除の回数…少ないなりの活動が必要。するように指導しているが、行えていない部分がある。コロナ禍と働き方改革、業務改善等々がある中で削られてきている部分がある。掃除だけではなく、朝会や集会等も同様。
- ・家庭での取り組みも啓蒙していく必要があるのではないか。アンケートなどを取って、情報を出していくことも必要。
- ・回収物、提出物のデータ化等も視野に入れていけるとよい。

OCS独自アンケートについて …… 次回まとめていく。

【その他】学校支援本部より活動報告

7/20・21 サマーキャンプ実施(70名程度)

永福小学校PTA →PCAへ組織変更 ……保護者の有志で会を成り立たせていく。

次回の会議日程

日時	令和6年9月26日(金) 15:00～
会場	永福小学校 図書室